

江戸後期の陰陽師に関する文書を読む 解答

史料1 覚(座敷之立替二付来年八方位不宜見合可然哉御伺并御光来
願二付)
〔坂本家文書二九六四〕

〔表紙〕

覚

血洗島の

洪澤(沢)宗助

家内

新三郎

家内

むら

さく

豊孫

ノ

当年未申酉の方へ

二月八日なり

坐(座)敷之立替仕候處(処)、漸

素立のミ壁いたし木

計_ニ御坐(座)候、是より造作

取かゝり申候、来年ハ一同

方位不宜候様_ニ御坐(座)候共

当年吉方之普請

いたしつゞけ_ニ仕候ハ、

宜可有之哉、来年之

方位至而不宜候様_ニ

御坐(座)候得者見合候方

可然哉、此段御伺申

上度候、其外御伺

申上度事有之、来

春者参上可仕候得共

普請いたしつゞけ_ニ

仕候二者、間ニ合不申

候_ニ付、以佳便一寸

御伺申上候、且又来
春御尊来も有
之候得者、外々ニも
願居候仁も有之候間、
御光来被下義も
有之候ハ、大幸之
至ニ奉存候、御様子
御伺申上候、誠に
急便早々如此に
御坐（座）候頓首再拝
く

十二月廿一日 渋澤（沢）宗助

坂本老先生

尊下

史料2 覚（方位占依頼への返書）

〔坂本家文書三二五四〕

覚

北之方

当年一白中ニ入暗剣殺之方大々凶
其上大將軍三年塞り之中之年ニ而
正当塞り
都天歳刑之方

書ニ曰陰神三ツ重ル則ハ主ニ大凶ニ云云
然ニ大凶殺四ツ重り合
当年第一之凶方ニ御座候

其上

八十六才 庚寅生

五十六才 庚申生 北之方の殺是ハ
常之世上流布之的殺ニ而ニ至ニ而ニ軽く

有之候得共

生年本命星五黄ニ有之

当年五黄南方ニ有之、北之方真之

的殺大之凶方ニ御座候

廿八才 戊子生 御兩人本命星一白ニ而

十九才 丁酉生 当年中ニ入是ヲ

中の殺と申八方天地塞リニ有之

萬(万)事大々凶ニ御座候、其上

北方ハ猶々大切ニ御座候

八十才丙申生北方的殺

右之通り年分凶方ニ候所

的殺之方五人ニ有之

扱々操合ニ入り入申候次第ニ御座候

十一月正月大々凶ニ有之

来年も五黄之方ニ而大凶

然共三月四月ハ中吉ニも

可被相成与存候

是非く御延引ニ相成兼候儀ニ

御座候ハ、当九日手始ニ而被成置

跡ニ而乍御倒挽打四五度も

被成候ハ、宜敷可有之哉

御請合申候儀ニハ無御座候

十九才 辰之方江御越被成候事

当年ハ極々大切之年ニ候得共

十一月十二日朝五つ半方九つ半迄之内

二時之間御宅門出ニ而御越可被成候

中吉ニ御座候

十月六日

坂本半兵衛

発知慶治郎様